生産方式革新実施計画の概要 【Be-Seeds山形農産 株式会社】

2026年
10月22日認定

活用するスマート農業技術

栽培管理システム

×

新たな生産の方式

データを産地内で共有し、次期栽培に活用

水稲において、栽培管理システムから得られたデータ（地力、生育状況など）を産地内の農業者と共有し、そのデータと比較しながら次年度の栽培管理を改善する。

＜申請者＞

Be-Seeds山形農産 株式会社
（山形県東置賜郡川西町）
経営概況（2026年10月時点）
経営規模：水稲19ha、飼料用米３ha、
大豆８ha
従業員数：４名

＜対象品目＞

水稲

＜計画の実施期間＞

５年間

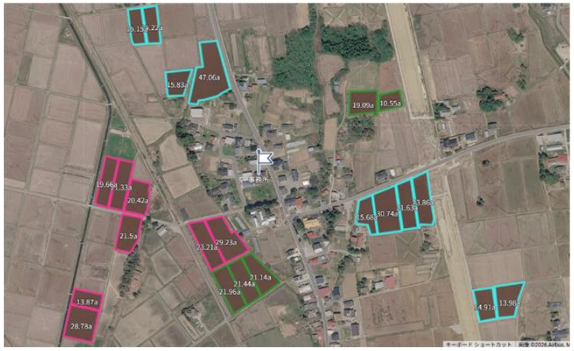
＜活用予定の支援措置＞

補助事業の優遇措置

＜生産方式革新事業活動のイメージ　等＞



Be-Seeds山形農産の皆様



栽培管理システム（KSAS）

～認定を受けて一言～

自動操舵、可変施肥、収量コンバイン等機械の進歩に合わせ、自社の農業経営と目標を向上させ、耕作放棄地のない地域農業の受け皿となりたいと思い認定を受けようと考えました。

個人の限られた情報量よりも、地域内で幅広く、様々な多くの情報を共有することにより施肥設計・管理と効率の良い防除でスマート化や低コスト化をすることが目標です。

【問合せ先】　東北農政局生産部環境・技術課　（直通）022-221-6193